

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H29.3.14
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	全体会議出席者

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	9%	14人	61%	5人	22%	2人	9%	23人	100%

## 前回の改善計画

一日一回は利用者さんに声をかける。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

声掛けや挨拶をするように心がけている職員は多く、7割ほどが出来ていると答えた。半面、全員に声掛けするのは難しいという意見や苦手な利用者には中々声掛けできない等、人見知りからくる性格的な原因もある。これから積極的に関わりを作っていきたいという職員が多かった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5人	22%	16人	70%	1人	4%	1人	4%	23人	100%
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	4人	17%	16人	70%	1人	4%	2人	9%	23人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4人	17%	14人	61%	3人	13%	2人	9%	23人	100%
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3人	13%	13人	57%	3人	13%	4人	17%	23人	100%

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①職員間の情報共有が出来ていて、都度変わる対応方法を職員同士で指導している。申し送りなどで事前に共有でき、快適に過ごせるように配慮できた。利用開始前のアセスメントには必ず目を通してしている。

②アセスメントやケアプランの確認、こまめな声掛けなどで出来るだけ情報を収集しながら積極的に関わるようにしている。本人や家族からの意見や質問があった際はケアマネに報告し、必ず返答するようにしている。廊下ですれ違った時にも必ず声掛けをするようにしている。職員同士だけで話さず、利用者と向き合えるように心がけている。普段から関わりを持っているので、気になる人には出来るだけ声掛けをしている。一日一回は声掛けをすることでコミュニケーションを図っている。挨拶などの声掛けを大切にしている。

③はじめは方言などで何を言っているかわからない時もあったが、こちらの方言を取り入れた声掛けで笑顔で接して頂けるようになった。利用者が笑顔になれるよう意識して声掛けしている。時間の許す限り利用者への声掛けが出来るように心がけている。優しく対応・声掛けすることを心掛けている。挨拶やバイタル測定時に顔色などの確認は必ずするようにしている。来所したときに声掛け、挨拶が出来るようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①</p> <p>②利用者すべての情報を記憶しておくことは難しく、意識不足や年齢による衰えなどもあり、変更になったケアに対応できない時もあった。また苦手意識のある利用者へは声掛けも不足している。仕事に追われて時々面倒くさいと思ってしまうことがある。</p> <p>③仕事に追われて気になっていても声掛けできずに終わってしまう時がある。入浴当番や受診へ出るときは観察や家族からの連絡ノートに目を通せない日がある。</p> <p>④不安時や不穏の時の利用者への対応で本当はしてあげたいのに、したくても出来ない時には特に声掛けや言葉の難しさを感じている。個人の情報や信頼関係の不足が考えられる。送迎の時に挨拶を交わす程度で利用者家族とのコミュニケーションが取れていないと感じている。家族や利用者に対する配慮・気遣いが不十分だと感じているので気を付けて改善していきたい。家族とあまり会って話すこともない為、不安や関係づくりなどができず、配慮が出来ているとは言い難い。家族との関係がまだ作れていない。訪問・送迎することがない為、よくわからない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者一人一人のケアプランに目を通し、実践する。</p> <p>※アセスメントや申し送り、連絡ノートで事前に利用者の情報を共有できる流れはあるが、入ってきたばかりの職員や意識してない職員は、いつどこでその情報がみられるのかわからない・仕事に追われて目を通せない事があるとの意見有。家族との関係が送迎や訪問をしない職員にとってはほとんどなく、よくわからないとの意見があった。まずは改めてケアプランを読んで利用者さん一人一人に目を向けてもらう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H29.4.11
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	全体会議出席者

## ◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3 人 13 %	8 人 35 %	10 人 43 %	2 人 9 %	23 人 100 %

## 前回の改善計画

利用者一人一人のケアプランに目を通し、実践する。

## 前回の改善計画に対する取り組み結果

半分の職員がケアプランに目を通し、実践することが出来た。出来なかった職員の中には仕事に追われて読む時間がなかったり、読めても実践することはできなかったという反省が見られた。今回、ケアプランを意識してもらうことは出来たので、続けてケアプランを読み実践していけるように心がけていきたい。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	2 人 9 %	9 人 39 %	7 人 30 %	5 人 22 %	23 人 100 %
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0 人 0 %	12 人 52 %	7 人 30 %	4 人 17 %	23 人 100 %
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0 人 0 %	9 人 39 %	10 人 43 %	4 人 17 %	23 人 100 %
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	3 人 13 %	11 人 48 %	5 人 22 %	4 人 17 %	23 人 100 %

## できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ①大事なポイントは理解している。それぞれの目標について理解している。ケアプランを見ることで理解している。意識して関わっていている。少しでも時間があれば、ケアプランやアセスメントに目を通すようにしている。
- ②一対一で関わる場面では本人の～したい…を聞いている。内容次第で日常生活に取り入れることが出来ている。日々の関わりの中で本人に聞いて理解している。
- ③本人より直接訴えがあった場合は対応できた。本人の残存能力維持のため介助しすぎないように気を付けている。
- ④カンファレンスなどで振り返り対応できている。

## できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ①ケアプラン全部に目を通していなかったため、利用者一人一人の目標が把握できていなかった。十分にアセスメントが出来ず、本当にその人のニーズとしての目標になっているか不安。きちんと話し合う時間が取れていない。計画書を見たり、聞いたりした中での対応しかできていない。わかっているけど、その日その日過ごすことに一生懸命で、その目標につながる関わりを意識できていなかった。ケアプランは読むのだが、落ち着いてみる時間も無く、忘れてしまう、本人の目標をしっかりとつかめていない。個人ファイルに目を通すが、全部は理解できていない。どこに書いてあるかわからない。いつ計画されてどこを見たらわかるのか、事前に説明されていない。
- ②～したいの実現について出来ている点が少ない。一人に関わってられる時間が短い。一部の関わりが薄い利用者に対して積極的に話しかけていくことができない。身体レベルなどの理由から～したいを実行できない場合がある。
- ③気が急いしまい、過剰な介護や支援をしてしまい、本人の目標の妨げになっていると感じる。
- ④ミーティングでの発言がなかなかできていない。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

アセスメント表を確認する。

※読んでいれば大事な所は理解できているし、意識していれば時間を見つけて読めるが、覚えてたり全員分を把握してそれを意識して一人一人に向き合うのは難しい。その反面利用者さんとかかわりの中で個人の目標やしたいことを理解して日常の中で出来るだけ取り入れるようにしている。これからも利用者さんとかかわりを大切にしていきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H29.5.9
------------------	-----	---------

3. 日常生活の支援	メンバー	全体会議出席者
------------	------	---------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	13 %	9	39 %	6	26 %	5	22 %	23	100 %

前回の改善計画 アセスメント表を確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果 半分の職員が出来たと答えた。ケアプランと同じく仕事に追われて読む機会がなかった職員が多い。初めて読んで改めて利用者さんの違う面を発見した職員もいた。これからも意識付けしていきたい。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	0 %	4	17 %	14	61 %	5	22 %	23	100 %
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	9	39 %	11	48 %	0	0 %	3	13 %	23	100 %
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	9 %	12	52 %	5	22 %	4	17 %	23	100 %
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	30 %	13	57 %	0	0 %	3	13 %	23	100 %
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	17 %	14	61 %	2	9 %	3	13 %	23	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①利用が長い方に関してはわかるが、最近入ってきた方に関してはまだ把握していない。</p> <p>②本人に合わせた基礎的な介護が出来ている。本人が出来るとは時間がかかってもしていただき、無理そうときは本人の意思を尊重するために確認してからお手伝いするようにしている。単独で無理して介助せずに利用者の負担を考えて二人介助にするなど工夫している。</p> <p>③ミーティングでは職員が思ったことや考えを口に出せる環境にあるので気付けば共有できる。</p> <p>④本人の訴えに早々に気づき、対応できた。いつもと違う様子や変化があった場合はすぐに周りに共有して、対応できるように心がけている。定期的なカンファレンスでその時の利用者に合わせて対応を検討し、対応できている。傾聴を心掛けている。</p>	

⑤個々の違いはありますが、何よりも健康第一で怪我のないよう見守り・観察をし、本人の意思を尊重できるよう努力している。体調の変化については毎日のバイタルチェック時に確認できている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

①アセスメント確認不足で以前の暮らしについて10個以上把握できていなかった。時間が経つと忘れてしまっている。利用中は安全に気持ちよく過ごせるように心がけているが、それに以前の暮らしを活かした+αする意識が低い。全員の分は覚えられない。今まで関わってきた中でその人にとって大事な事と思われることは覚えているが、あとは忘れてしまう。今現在どうしたら安全・安楽に過ごせるかという事を主に考えているので自宅にいたころのことまで中々考慮することが出来ない。

②入ったばかりで、まだ利用者の状態などを把握できていない。

③ミーティングがモニタリングだけで終わってしまうことがある。家族や職員の意見だけで利用者本人の声がかみ取れていない。声にならない声を代弁するほど信頼関係や経験が足りていない。各利用者ごとに相性の良い職員がいるのに、そこから情報を吸い上げ切れていない、カンファレンスに勤務時間帯の関係で参加できない等。

④仕事に追われて気付くのが遅くなってしまい、すでに利用者が不穏状態の時があった。普段口数の少ない利用者の場合は気付くのが遅くなりがち。積極的にコミュニケーションをとっていなかったり信頼されていない、また、スタッフ同士のコミュニケーション不足もあり、わかっていない時もあるので自分から関わっていききたい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

連絡ノートを活用しよう。

※ほとんど出来たが利用者の事を知っていてもそれを上手く生かしていなかったり、そこまで意識して仕事をする余裕がないなどの意見があった。本人の今の状況や気持ちを理解して介護者や家族などの環境にも配慮しよう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2017年6月13日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	全体会議出席者

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	26 %	8	35 %	3	13 %	6	26 %	23	100 %

前回の改善計画	連絡ノートを活用しよう。
前回の改善計画に対する取組み結果	6割ほどの職員が出来た。夜勤勤務が多い職員は読む機会が少なく、実践できなかった。また、連絡ノートを読むことは出来たが、家族とのコミュニケーションを親密にするとところまでは至らなかったりなど、こちらでも何かしら工夫が必要と思われる。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	利用者本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4 %	12	52 %	7	30 %	3	13 %	23	100 %
②	利用者本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	9 %	8	35 %	8	35 %	5	22 %	23	100 %
③	事業所が直接接していない時間に、利用者本人がどのように過ごしているか把握していますか?		0 %	5	22 %	10	43 %	8	35 %	23	100 %
④	利用者本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		0 %	3	13 %	8	35 %	12	52 %	23	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①本人とよく話すことでどのような生活をされているか理解している。本人が大切な思っていることや好きなことを理解し、支援している。好き嫌いぐらいの把握は何とか出来ている。</p> <p>②送迎中やドライブ、外出した際は本人と関係ありそうな場所や物を見たら話題にするようにしている。送迎時などを利用し、家族とも話せる機会を作るようにしている。自宅で排泄があったかなどの確認は毎回されている。何か問題や疑問があったときは家族に聞くことが出来ている。家族や地域の子供たちが来てくれる行事を年に数回開催している。運動会、敬老会、夏祭り、ドライブ、外食などをとおして家族や外部とのつながりが保たれている。</p> <p>③ノートを活用して家族と関わり情報を共有できている。自宅での様子を家族に聞き取るようにしている。実際に目にする機会は少ないが、ケアプランで示されている主な日常生活上の行動で把握している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>②自分の住んでいる地域や、事業所のある地域でない場合は特に、本人と地域の人たちの関係が切れないように支援するのは難しい。どのような支援が適切かわからない。</p> <p>③送迎に関わったこともなく、家族と接する機会もない為、事業所外で利用者がどのように過ごしているか把握していない。勤務時間外の事なので考えたことがなかった。普段の関わりが挨拶や連絡ノートくらいだが、連絡ノートには家族からのコメントは少ない。連絡ノートに記入してくれる家族がいれば自宅での様子も分かるが、記入なしだと把握が難しいがこちらからもなにかしら工夫する事が必要だと思う。</p> <p>④民生委員について把握していなかった。民生委員などの地域の資源不足や今の時点ですぐに対応できる人が居ない。把握していない。自分が住んでいる地域以外の民生委員の把握は出来ていない。地域や島の事をまだ把握していない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者の体や心の変化に気付き、記録を共有しよう。</p> <p>※利用者さんの自宅での日常や、利用者さんの地域での資源の活用についてはわからないと答えた職員が多かった。改めて連絡ノートや会話から利用者の普段の様子を知り、情報を共有していこう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H29.8.8
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	全体会議出席者

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	13 %	14 人	61 %	3 人	13 %	3 人	13 %	23 人	100 %

## 前回の改善計画

利用者の体や心の変化に気付き、記録を共有しよう。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

ほとんどの職員が出来たと答えた。意識して関わりを持つことで今までよりも変化に気付きやすくなった。記録の方は忘れがちになったりするので、先にメモなどして後から時間あるときに記録するなどの工夫が必要。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2 人	9 %	5 人	22 %	12 人	52 %	4 人	17 %	23 人	100 %
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8 人	35 %	10 人	43 %	2 人	9 %	3 人	13 %	23 人	100 %
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	6 人	26 %	14 人	61 %	1 人	4 %	2 人	9 %	23 人	100 %
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	8 人	35 %	12 人	58 %	2 人	9 %	1 人	4 %	23 人	100 %

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①

②急な予定変更などにも柔軟に対応できている。ニーズに合わせて適切に提供されている。

③職員間で報告・記録・引継ぎが出来ている。カンファレンスなどで共有できている。職員が利用者の変化に気付き、情報を共有していることで対応できている。カンファレンスに参加できなかった職員にも読んでサインしてもらうなどの方法でしっかり共有できている。

④大半の人は出来ている。普段とは違う支援になる場合は本人の意思を確認してから対応している。本人の状態に合わせて対応の仕方・職員・タイミングなどを工夫して柔軟に対応できている。希望や要望はケアマネに伝えて叶えられるものは対応している。



できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①利用者の身近な人間関係などを把握していないため、ご近所さん・友人などとも関わることもなく、地域の資源を使って支援できていない。接点がなく、どのような地域資源があるのかわからない。直接関わることなく、事業所としてどのようにかかわっているのかも知らない。</p> <p>②介護者が働いており、子育て中・自営業などの事情から通い休みが受け入れられない人が居る。家族が望む宿泊と本人が望んでいない宿泊との間で職員が板挟みになり、対応が難しい。</p> <p>③きちんと対応したにも関わらず、記録が出来ていない時がある(なるべくメモしてもらえると後で記録に書ける)。普段の状態がまだ把握できていないため、対応が遅れることがある。出勤する日が限られているので普段の様子を把握するのが難しく、すぐに変化に気付くことが出来ない。</p> <p>④本人が出来ることはしてもらうため、時間がかかりすぎる事がある。うたた寝している利用者がそのままだったり、トイレに行きたいそぶりに気付いてあげられない、食事時間が本人の希望通りの時間にできているか…こちらの仕事の都合に合わせてしまっているのではと心配。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>資料を読んで小規模多機能事業所について理解しよう。</p> <p>※地域の資源について知る機会が少なく把握している職員も少ない。まずは小規模多機能事業所や利用者にとって地域資源がなぜ大切なのか理解しよう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H29.9.12
6. 連携・協働	メンバー	全体会議出席者

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	17 %	9 人	39 %	5 人	22 %	5 人	22 %	23 人	100 %

## 前回の改善計画

資料を読んで小規模多機能事業所について理解しよう

## 前回の改善計画に対する取組み結果

半分の職員が出来なかったと答えた。資料を読んで理解できなかった部分は勉強会などが必要。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2 人	9 %	4 人	17 %	3 人	13 %	14 人	61 %	23 人	100 %
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2 人	9 %	1 人	4 %	1 人	4 %	19 人	83 %	23 人	100 %
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	人	0 %	5 人	22 %	6 人	26 %	12 人	52 %	23 人	100 %
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6 人	26 %	9 人	39 %	0 人	0 %	8 人	35 %	23 人	100 %

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①担当者会議は参加できている。福祉フェスなど他機関との連携でのイベントに参加することが出来た。医療機関については家族と話し、わからない時は看護師が直接確認を取るなどして連携を図ることはある。避難訓練などで消防署と連携が取れるようになっている。その都度家族、看護師やケアマネが病院や訪看と連絡を取り合い対応している。

②運営推進会議には町の職員が参加している。

③イベントには参加できている。個人としては季節ごとの行事には参加できている。他事業所との交流会は年に数回行っている。

④敬老会・クリスマス会にはたくさんの方が来てくださっています。近隣の小学生や保育園生が事業所を訪れている。自分の子供を連れてきたときは関わってもらえるようにすることはある。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①機会がなく、他機関との会議には参加できていない。時間の許す限り参加したいと思っている。</p> <p>③業務や家事・子育てに追われてしまい、仕事以外の活動やイベントには参加していない。地域の行事に事業所単位で参加する場合、利用者が使えるトイレがないなどの理由で参加できていない。利用者の介護度が全体的に上がってきていて、連れていく人手と留守番する人手を考えると大きな地域行事ほど安全の保障が難しい。あくまでも地域との積極的なかわりは家族や、事業所が主体になってするものだと思っているので仕事内で関わりがなければ、個人で関わりを持つとは思わない。</p> <p>④子供たち以外の地域住民は交流がほとんどなく訪れることが少ない。施設に来るための車や、坂道の上にあって訪問しにくいのか…訪問者や、家族はいつ来ても良いと伝えてはいるが、来る人はいつも一緒。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>運営推進会議録を読もう。</p> <p>自分の住んでいる地域や事業所以外の事がよくわからず、どのようにつながっているのか普段関わりがないと理解できていなかった。運営推進会議には地域の相談員、区長、他施設職員などの方々も参加しているので読んでみてほしい。場所は玄関のラックの上に誰でも読めるように設置してあります。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H29.10.10
------------------	-----	-----------

7. 運営	メンバー	全体会議出席職員 名
-------	------	------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	5 人 22 %	3 人 13 %	5 人 22 %	10 人 43 %	23 人 100 %

前回の改善計画	運営推進会議録を読む。
前回の改善計画に対する取組み結果	ほとんどの人が出来なかった。直接利用者に関係してとは思えず、全く参加していないので読もうという意識がなかった。場所がわからなかったとの事。職員に運営推進委員会に参加してもらえればよい勉強になる。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1 人 4 %	7 人 30 %	6 人 26 %	9 人 39 %	23 人 100 %
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5 人 22 %	8 人 35 %	7 人 30 %	3 人 13 %	23 人 100 %
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1 人 4 %	6 人 26 %	4 人 17 %	12 人 52 %	23 人 100 %
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	人 0 %	4 人 17 %	6 人 26 %	13 人 57 %	23 人 100 %

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①全体会議などに参加して意見が言える。日々の気づきに関してはその都度意見を上げることが出来ている。	
②意見や苦情があった場合は今後円滑に進むように共有・反映している。話し合い、対策を立てることが出来ている。	
③褒められることが多い。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
①夜勤が多く会議に参加できず、事業所のあり方について意見を言う機会がない。考えたことがなかった。	
②スタッフミーティングだけで終わってしまい、家族や利用者からの苦情や意見を中々反映できない。	
③地域の方からの苦情や意見が中々伝わってこない。	
④個人的に地域の取り組みに参加することはあっても事業所単位で参加する機会がなく、積極的に地域と協働できていない。どういう風に接点を作ったらよいのかわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ヒヤリハットや事故報告書の結果を読み返してみよう。	
※ヒヤリハットや事故報告書を通して報告・対策・共有してみよう。利用者さんの安全のために事業所が対策していることを改めて確認してみよう。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H29.11.14
------------------	-----	-----------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	全体会議出席職員 名
-----------------	------	------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人 41 %	8 人 36 %	1 人 5 %	4 人 18 %	22 人 100 %

前回の改善計画	ヒヤリハットや事故報告書の結果を読み返してみよう。
前回の改善計画に対する取組み結果	ほとんどの職員が出来た。改めてヒヤリハットや事故報告を確認したことで意識させられた。一回読んだのに忘れていたこともあった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5 人 22 %	6 人 26 %	6 人 26 %	6 人 26 %	23 人 100 %
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3 人 13 %	9 人 39 %	3 人 13 %	8 人 35 %	23 人 100 %
③	地域連絡会に参加していますか	1 人 4 %	1 人 4 %	3 人 13 %	18 人 78 %	23 人 100 %
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5 人 22 %	9 人 39 %	5 人 22 %	4 人 17 %	23 人 100 %

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<p>①職場やケアマネの研修には参加できている。勉強会などにはすすんで参加する。</p> <p>②自主的にスキルアップしている。</p> <p>④ヒヤリハット・事故報告の改善点で決まったことを守り、同じことが起きないように気を付けている。広い範囲を見渡せる位置に立ち、安全であるよう意識している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<p>①機会がなく、研修や勉強会に参加できていない。参加は出来ていないが、後から配られる資料を見たりして内容がわかるようにしている。忙しくて行けない。</p> <p>②もう少し会社からの補助があれば多くのスタッフがスキルアップしやすいのでは?</p> <p>③どこでどのように行われているのか情報がなく、地域連絡会に参加したことがない。</p> <p>④ヒヤリハットで同じような事例が続いているのは責任追及や犯人捜しをしないことによって原因の追及がなされていないのでは? 忘れていたり、ヒヤリハットの報告書を書くのが面倒くさくて書かない時があった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>個人情報漏れないように工夫する。(職員同士の声の大きさなど)</p> <p>※個人情報の保護やプライバシーの尊重が出来ているか考えてみよう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H29.12.12
------------------	-----	-----------

9. 人権・プライバシー	メンバー	全体会議出席職員 名
--------------	------	------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	22%	13人	57%	3人	13%	2人	9%	23人	100%

## 前回の改善計画

個人情報が漏れないように工夫する。(職員同士の声の大きさなど)

## 前回の改善計画に対する取組み結果

ほとんどの職員が出来たと答えた。意識して個人情報やプライバシーに配慮することが出来たが、自分では気づいていないところで配慮が足りなかった場面が多々あった。これからも気を付けていきたい。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	身体拘束をしていない	18人	78%	4人	17%	1人	4%	0人	0%	23人	100%
②	虐待は行われていない	15人	65%	8人	35%	0人	0%	0人	0%	23人	100%
③	プライバシーが守られている	10人	43%	9人	39%	3人	13%	1人	4%	23人	100%
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	4%	4人	17%	4人	17%	14人	61%	23人	100%
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6人	26%	12人	52%	2人	9%	3人	13%	23人	100%

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①その人らしく介護できるように手伝っている。出来るだけ本人の好きなように行動できるように見守っている。

②利用者自身や家族から優しい職員が多いと聞くことが多い。

③プライバシー保護の為日ごろから気を付けている。守られている。申し送りなどの報告を利用者が聞こえないように少し離れて行っている。外や自分の家族に利用者のプライバシーに関わることは言わない。トイレ介助時などには特に配慮して利用者の意思に沿うようにしている。

⑤個人情報の取扱いに気を付けている。管理者の意識レベルが高く職員も賛同できている。メモを持ち帰らない。いらなくなったものはシュレッダーにかける。個人ファイルは受診の時以外持ち出さない。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①忙しい時について、ちょっと待ってて・座っててくださいなどという事がある、傾聴して会話して納得してもらえればいいのですが、会話が成立しないほどの不穏状態になると時間もかけられずその都度制止するの繰り返しになってしまう。
- ②家族でもないのに職員が利用者に怒ったり、ため口・荒い言葉になるときがある。言葉での虐待に気を付けてほしい。
- ③休憩部屋やトイレなどを確認せずにいきなり開けてしまうことがあった。カンファレンスの結果が長い期間ホワイトボードに貼りだされたままのときがある。トイレ使用時、見守りが必要でプライバシーがないと感じられている利用者もいるかもしれない。利用者の以前の暮らしや生活状況、生い立ちを冗談でふざけたみたいに職員同士が笑って話すのはどうか？プライバシーや個人情報の侵害では？
- ⑤個人ファイルの記入をする際、急に呼ばれたり、突発的な事があると、ファイルを閉じずに書きかけのままテーブルに広げたまま席を外してしまうことがある。家族からの連絡などをケアマネにメモなどで伝える際、誰でも見えるところに置いていた。職員同士が利用者の情報交換をするときに他の利用者さんに聞こえてしまっている時があり、耳が遠いからどうせ聞こえないだろうとか、認知があるから理解できないだろうという気持ちもあり配慮に欠けている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

身体拘束に関しては守られているが、言葉の虐待についてもっと意識したほうが良いのではという意見があった。また普段の職員同士の会話の中でプライバシーの侵害や個人情報の管理に問題がある場面があるとのことで、声の大きさや内容に気を付ける必要がある。

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	有限会社 岡村	代表者	代表取締役 岡村 栄一	法人・事業所の 特徴	地域密着型特定施設と併設されており、屋久島町にただ一つの小規模多機能である。海と山とが一望できる。利用者が自分のペースで通いや宿泊、訪問を利用できるように、家族・職員・看護師との連携を密にし利用計画を立てて、家族の急病や台風などによる急な利用にも対応している。常時見学なども受け入れており、地域住民とも親交を深め親しみやすい施設を目指している。
事業所名	ひまわりのお家	管理者	岡元 さつき		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	2 人	1 人	0 人	2 人	0 人	1 人	3 人	1 人	11 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	初年度という事で職員と話し合い基礎的な事から見直し自己評価に取り組んだ。来年度は今年度の反省を生かし、事業所全体で取り組んでいきたい。	事業所全体で取り組むことが出来た。より深く自分の働いている事業所について知るきっかけとなった。	具体的な計画が立てられており、取り組むことが出来た。意識して取り組むことで気付きや新しいことに取り組む意欲が生まれた。	自己評価を行う意味や事業所全体を知るきっかけとして自己評価に取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関ロックについて職員数に余裕があつて目が届くときは玄関ロックを解除しておくなどを試してみる。	鍵のかかっていないテラスの出入り口からの無断外出なども発生し、鍵を閉めることに関しては色々試すことが出来なかった。	玄関へはロックがかかっており、自由に入出入りできないが、安全が確保されている窓は解放されているので閉じ込められているという感覚は薄い。	正面玄関のロックは中々常時解除できないが、目が行き届き、安全が確保されたときは解放していくなど試していく。
C. 事業所と地域のかかわり	ボランティアや地域の学校や保育所などの訪問を積極的に受け入れる。利用者との外出時や送迎・訪問時はひまわりの職員としての意識を持って地域の方と接する。	多くの地域の方々の訪問を受け、外からみた事業所を意識するようになった。	挨拶や地区の行事への参加はしているが、事業所そのもののアピールが足りないのでは?もっとひまわりを知ってもらえるよう活動しても良いのでは?	ボランティアや学校、保育園などの訪問を積極的に受け入れていく。ひまわりのお家からアピールできることがないか検討してみる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者が暮らしている地域や祭りに出かける。地域で過ごす時間を出来るだけ作る。	地域の祭りや行事に参加できる利用者もいたが、体力や家族の事情で参加できない利用者もいた。	地域と密着した関係性がまだ作れていない。個人間での関係性はあっても事業所として関係していくのは難しい。	利用者の以前の暮らしを理解して、変わらぬ関係性に対処できるよう努めていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で上がった議題を職員にも共有・周知できるようにする。	運営推進委員会の議事録を職員や来客・家族がいつでも手に取れる玄関に配置している。	運営推進委員会では、相談員や役場職員との意見交換の中で事例などを交えて話し合うことはある。運営推進委員会として地域での取り組みに参加したことはない。	運営委員会での幅広い意見を元に、より事業所への周知・改善に努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	風水害避難マニュアルの見直しと職員への周知をする。	風水害避難マニュアルの見直しはしたが改定・周知までできなかった。	実際に風水害の避難訓練などが地域で行われず、どのような改善点があるのか確認しづらい。	風水害マニュアルの見直しあり。周知に努めていく。